

支社長席



原田 政彦氏

はらだ まさひろ

大日本コンサルタンツ
大阪支社長

ワークライフバランス目指す

大阪支社は中国、四国の2支店を含め約150人もの社員を擁する一大拠点。「支社の利益面は数年前から軌道に乗ってきた。次の段階として社員の働き方を改善し

ていきたい」と抱負を語る。

「女性も増えている。残業の改善を図り、余裕を持った仕事の体質にシフトさせる必要がある」と社員のワーク・ライフ・バランスを目指す。「もともとコンサルは職人気質。個人の能力は発揮しつつ、グループで共同して業務に取り組む改革」で効率化を図っていく。

社内でも西日本は鋼構造・コンクリート部門の比率が高い。「現状を維持しながら、道路、交通、河川、砂防などの受注を伸ばしていきたい。また、当社の耐震技術は日本一だと思っている。景観も優れている分野なので、その付加価値を高めていける」と今後の展

開を見通す。

その地盤づくりも着々。「コンサルはサービス業とも言える。お客さまの対応を定期的にチェックすることや、顧客アンケートを行う」ことを実施している。また、全社で初めて大阪支社に7月から技術審査プロジェクト室が新設された。「プロポーザルの特定率を上げることや、成果品の品質を確保する」のが目的だ。

1985年金沢大工学部土木工学科卒。橋の設計を志し入社。「細部にまでこだわる」精神で数々の橋梁を担当。土木学会田中賞を受賞した伊良部大橋の管理技術者を務めた。大阪支社副支社長から7月1日付で現職。趣味はゴルフとランニング。モットーは「為せば成る」。富山県出身、54歳。